

## 都市計画マスタープラン変更計画策定に伴うアンケート調査 実施及び結果について

### ■実施の概要

#### 目的

本計画策定にあたっては、都市計画法第18条の2に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」において、住民の意見を反映させて定める必要があることから、住民の都市計画に対する認識や都市づくり上の問題点把握を目的として、アンケート調査を実施。

#### 内容

- ①配布方法：町内(女満別・東藻琴両地区)にアンケート用紙を郵送配布。
- ②配布数：1,000部 対象年齢18歳～75歳
- ③調査時期：令和2年7月14日～8月17日まで

### ■アンケート結果

#### 回収率

配布数1,000部に対し、回収数340票、回収率34.0%

#### 回収率の妥当性

統計学の一般的な考えにより必要なサンプル数を算出すると、3割回収できればアンケートの有意性が損なわれないと判断されることから妥当性がある結果



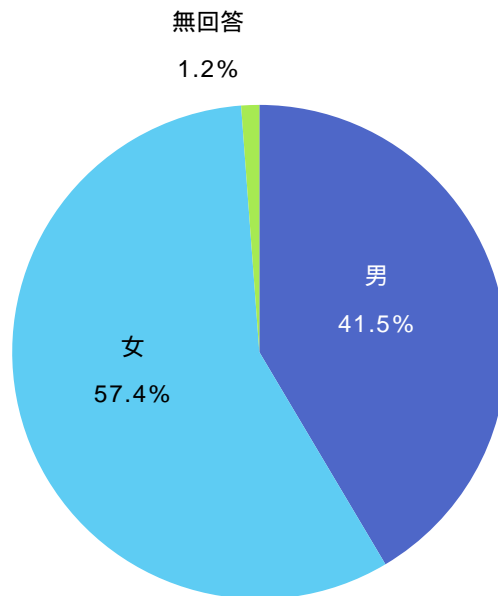
## 大空町まちづくりに関する意向調査

都市マス策定にあたり、まちづくりのために地域・地区の現状の課題や住民が求めている方向性を明確に把握することを目的として行いました。

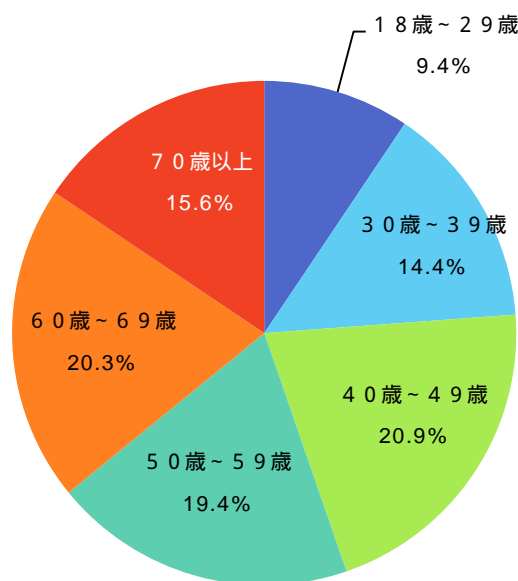
### 結果概要

配布数 1,000 世帯、回収数 340 票、回収率 34.0%

問1．性別について。

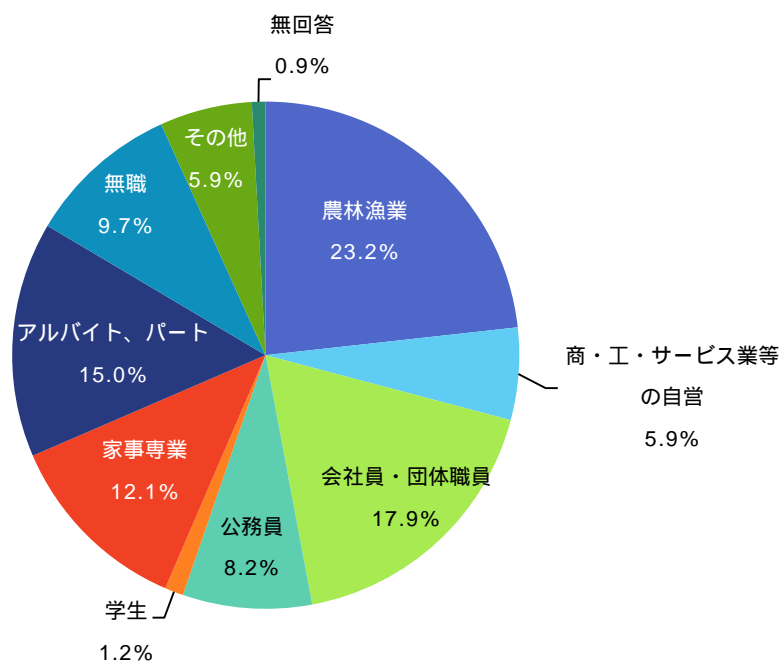


問2．年齢について。

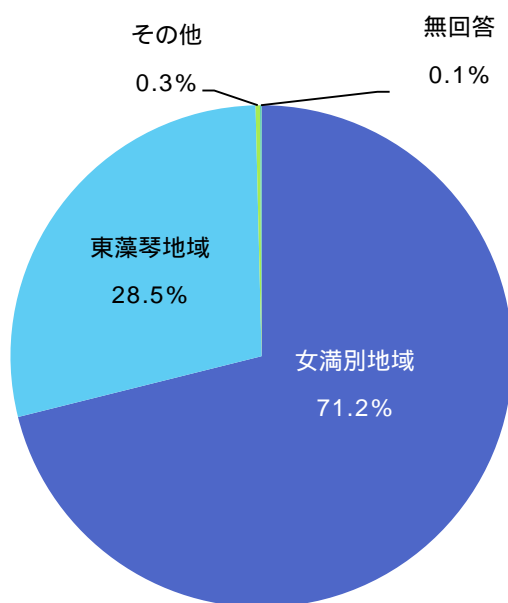


# アンケート結果

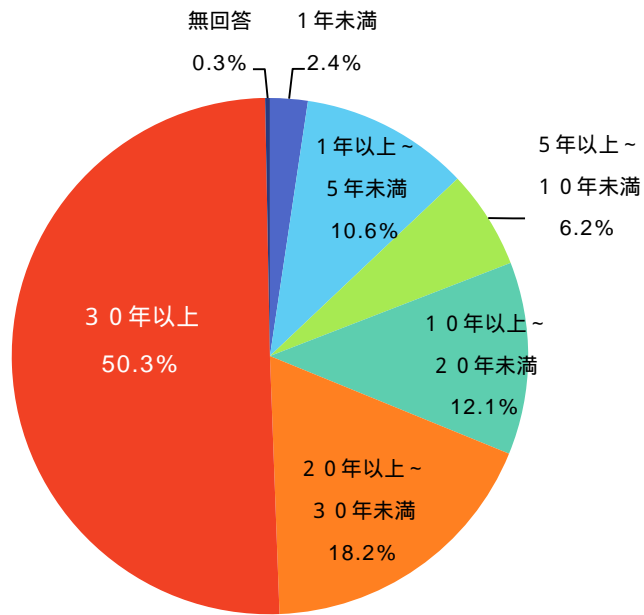
問3. 職業について。



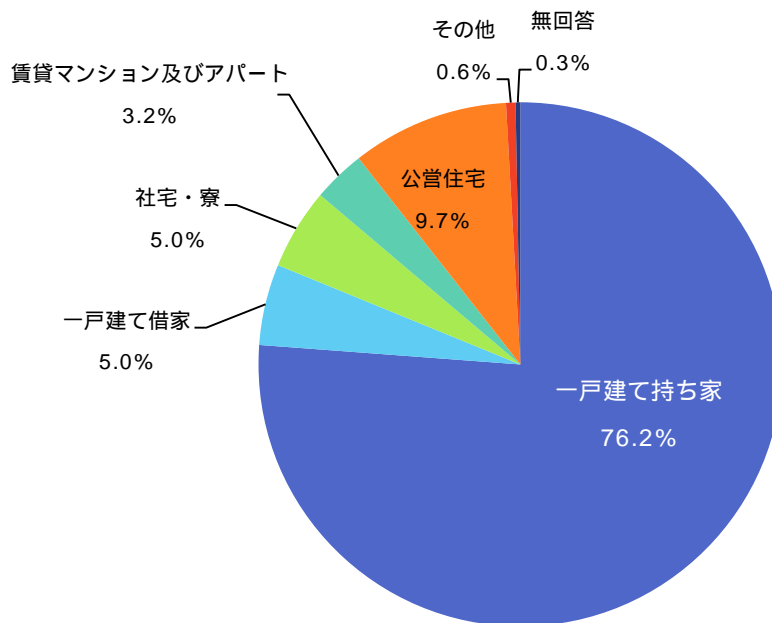
問4. お住まいの地区について。



問5 . 居住年数について。

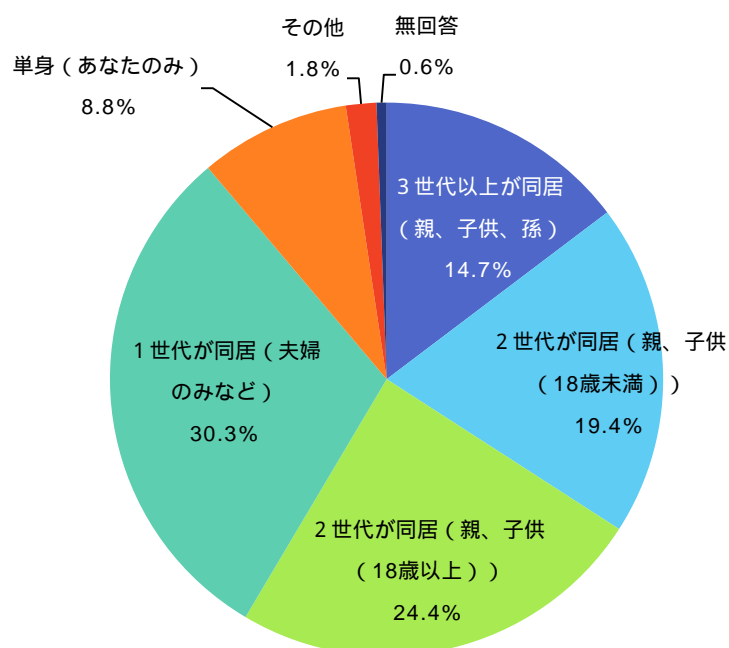


問6 . お住まいの形態について。



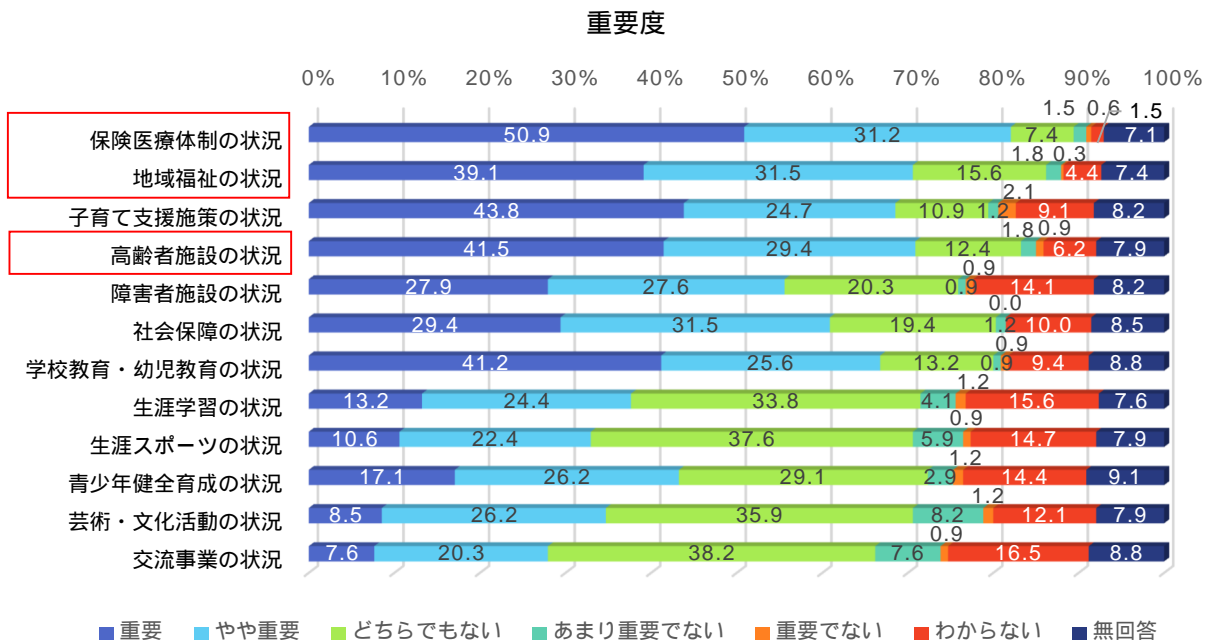
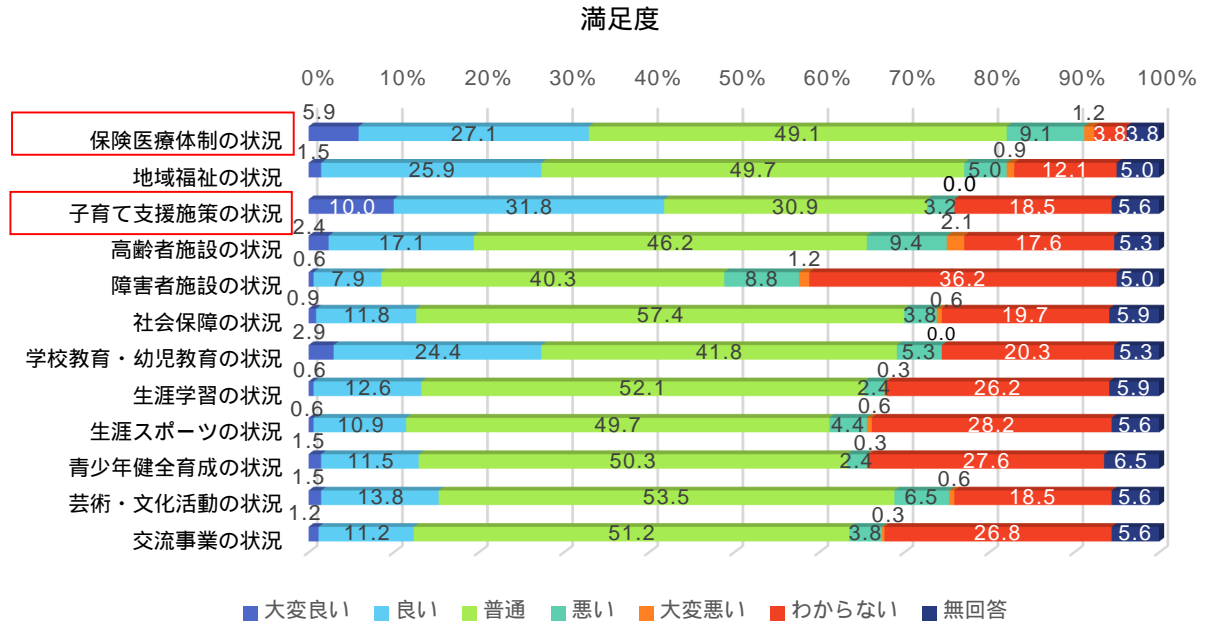
# アンケート結果

問7．家族の形態について。



問 8 . 現在あなたがお住まいの地区の各項目についてどう思いますか。

保険・医療・福祉・教育・文化について



# アンケート結果

「子育て支援施策の状況」の満足度が高くなっており、大変良い、良い合わせて41.8%、次いで「保険医療体制の状況」となっています。重要度は「保険医療体制の状況」が最も高く、次いで「高齢者施設の状況」「地域福祉の状況」となっています。

○「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。

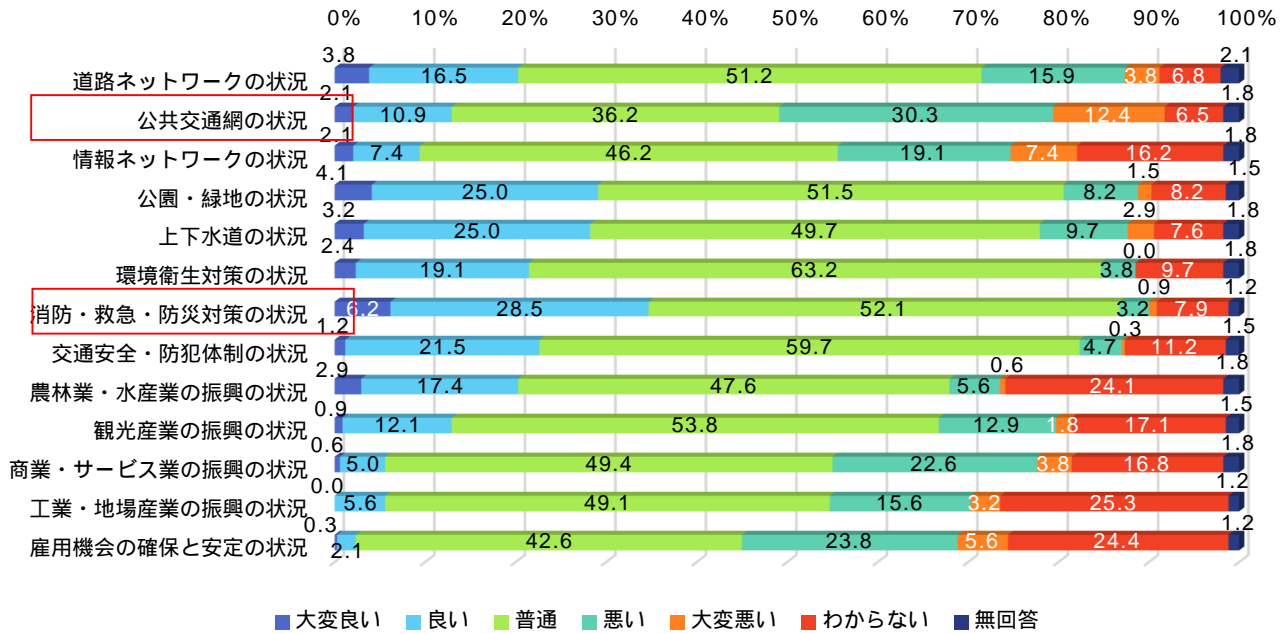
・都市づくりの目標：(社会保障の状況、青少年健全育成の状況、芸術・文化活動の状況)

・都市環境の方針：(保険医療体制の状況、地域福祉の状況、子育て支援施策の状況、障害者施設の状況、学校教育・幼児教育の状況、生涯学習の状況)

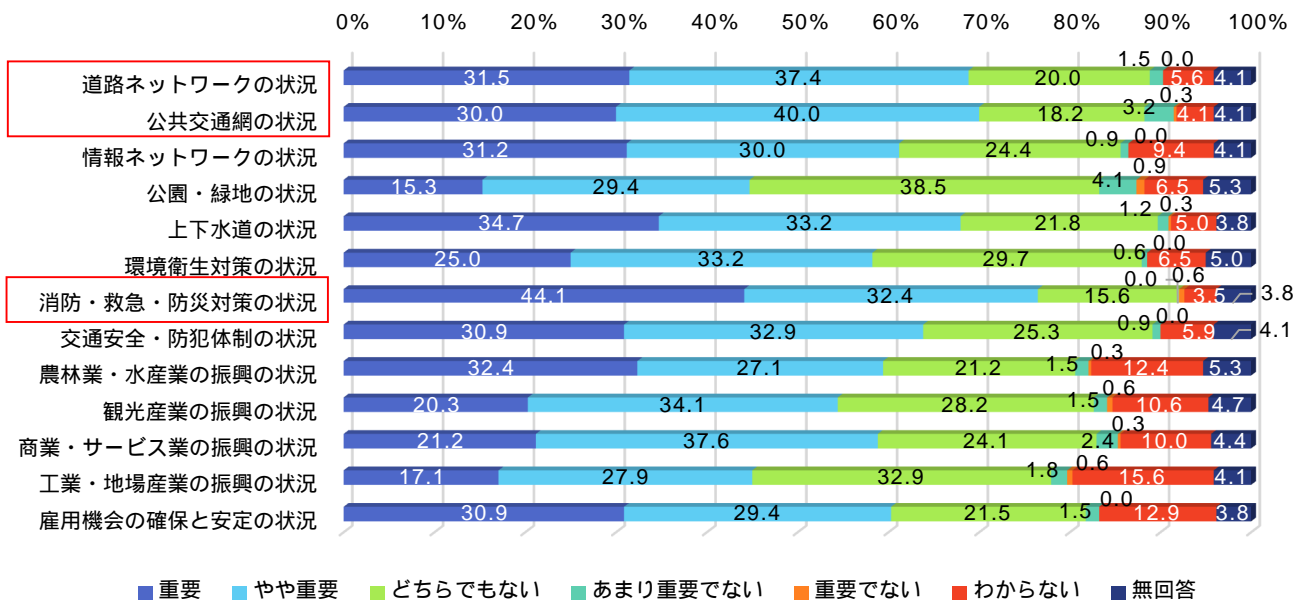
○「8章 実現化の方途」の方針に影響される設問。(交流事業の状況)

## 生活基盤・生活環境・産業の振興について

### 満足度



### 重要度





# アンケート結果

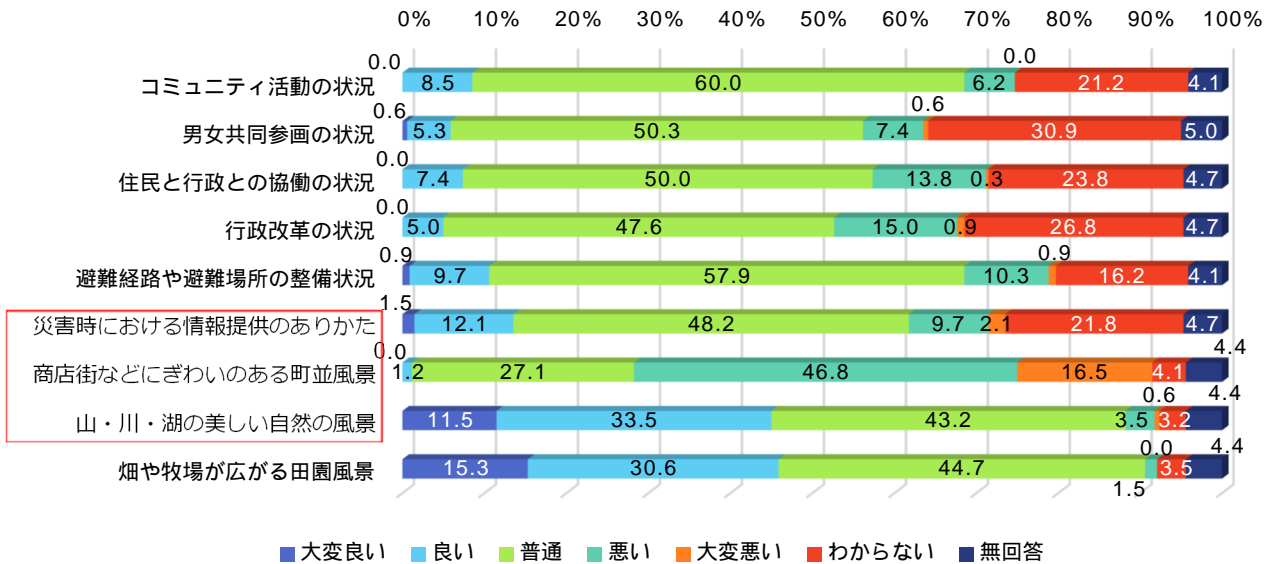
満足度が最も高い項目は「消防・救急・防災対策の状況」となっていますが、「公共交通網の状況」が、悪い、大変悪い合わせて 42.7%となっており、満足度が低い結果となっています。重要度は「消防・救急・防災対策の状況」が最も高く、次いで「公共交通網の状況」「道路ネットワークの状況」となっています。

○「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。

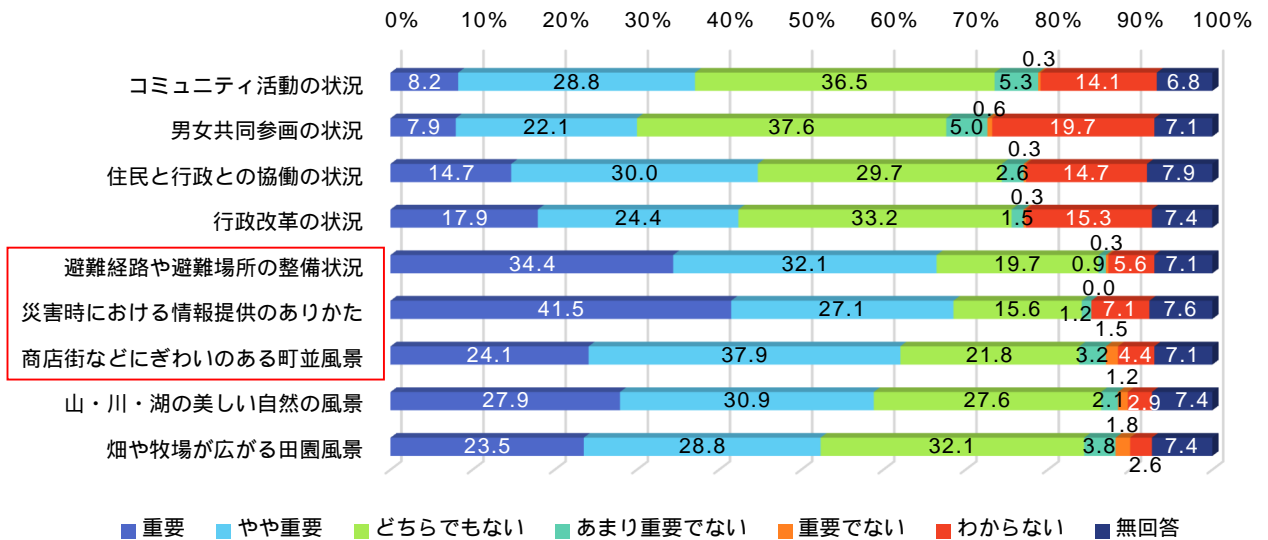
- ・都市づくりの目標：(交通安全・防犯体制の状況、農林業・水産業の振興の状況、観光産業の振興の状況、商業・サービス業の振興の状況、工業・地場産業の振興の状況、雇用機会の確保と安定の状況)
- ・都市施設の方針：(道路ネットワークの状況、公共交通網の状況、情報ネットワークの状況、公園・緑地の状況、上下水道の状況)
- ・都市環境の方針：(環境衛生対策の状況、消防・救急・防災対策の状況)

## 地域づくり・防災・景観について

### 満足度



### 重要度



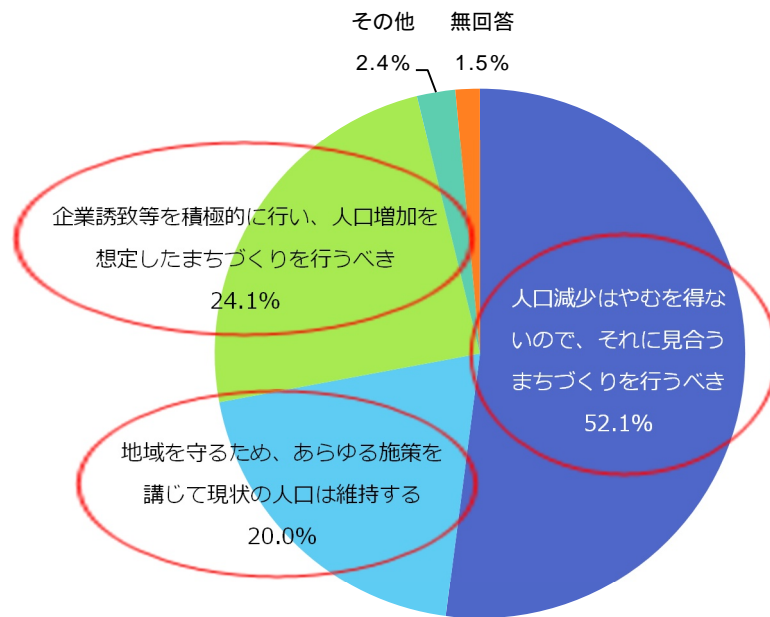
# アンケート結果

「山・川・湖の美しい自然の風景」と「畑や牧場が広がる田園風景」の満足度が高くなっています。「商店街などにぎわいのある町並風景」が、悪い、大変悪い合わせて63.3%となっており、満足度が低い結果となっています。重要度は「災害時における情報提供のありかた」が最も高く、次いで「避難経路や避難場所の整備状況」「商店街などにぎわいのある町並風景」となっています。

- 「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。
  - ・都市づくりの目標：(商店街などにぎわいのある町並風景、山・川・湖の美しい自然の風景、畑や牧場が広がる田園風景)
  - ・都市環境の方針：(避難経路や避難場所の整備状況、災害時における情報提供のありかた)
- 「8章 実現化の方途」の方針に影響される設問。(コミュニティ活動の状況、男女共同参画の状況、住民と行政との協働の状況、行政改革の状況)

問 9 . 大空町の人口は平成 27 年：国勢調査において 7,360 人で、人口減少が続いており、国の統計機関によれば、20 年後の令和 17 年には 5,138 人と推計されています。

人口の増減はまちづくりに多大な影響をおよぼしますが、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から 1 つだけ選んで右の回答欄に をつけてください。

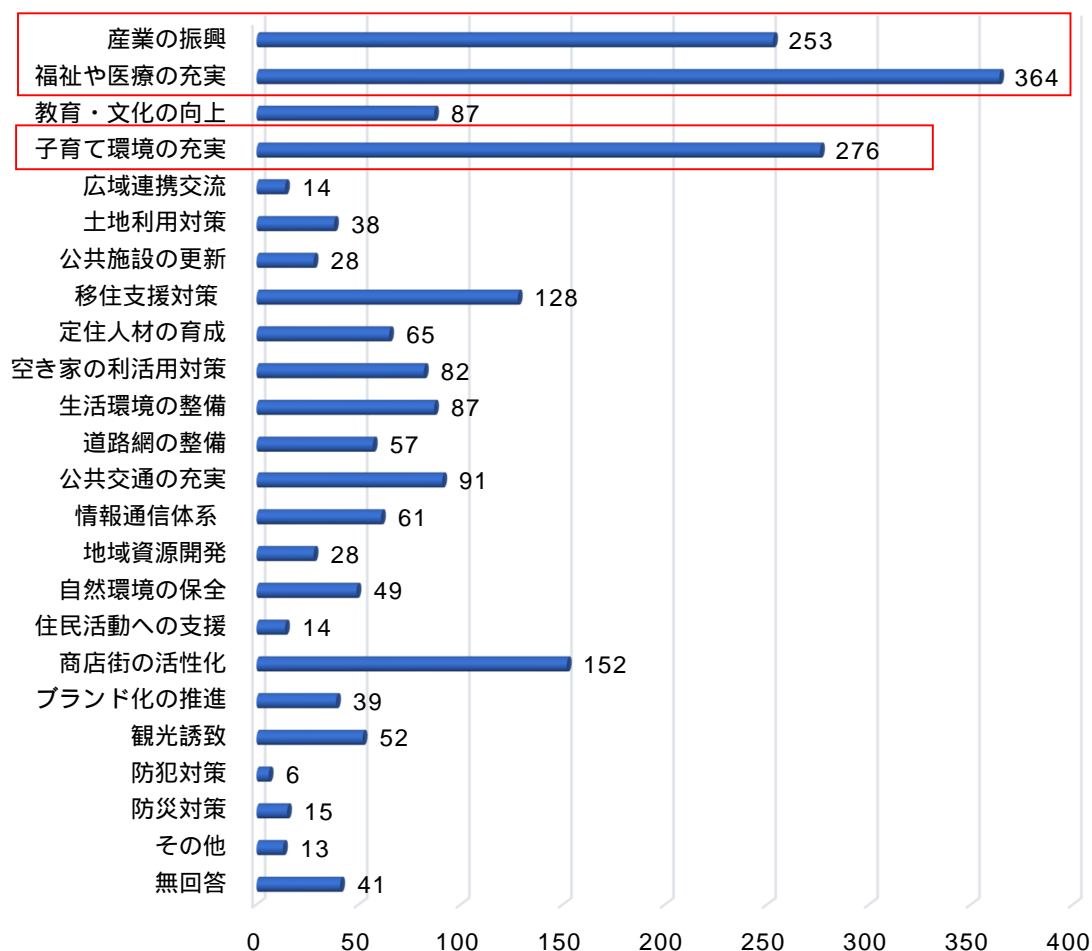


「人口減少はやむを得ないので、それに見合うまちづくりを行うべき」が 52.1%と最も多く、「企業誘致等を積極的に行い、人口増加を想定したまちづくりを行うべき」が 24.1%、「地域を守るため、あらゆる施策を講じて現状の人口は維持する」が 20.0%となっています。

○「6章 全体構想」の「都市づくりの目標」に影響されます。

# アンケート結果

問 10 . 大空町を住み良くより豊かにするために、どのような施策に力を入れたら良いとお考えですか？ 1～23 から3つ選んで、優先順位を決めて番号を記入して下さい。



第1位×3P、第2位×2P、第3位×1Pの点数により数値を確定し、数字の大きさにより優先順位が高い。

「福祉や医療の充実」と回答した人が364Pと一番多く、次いで「子育て環境の充実」が276P、「産業の振興」が253Pとなっています。

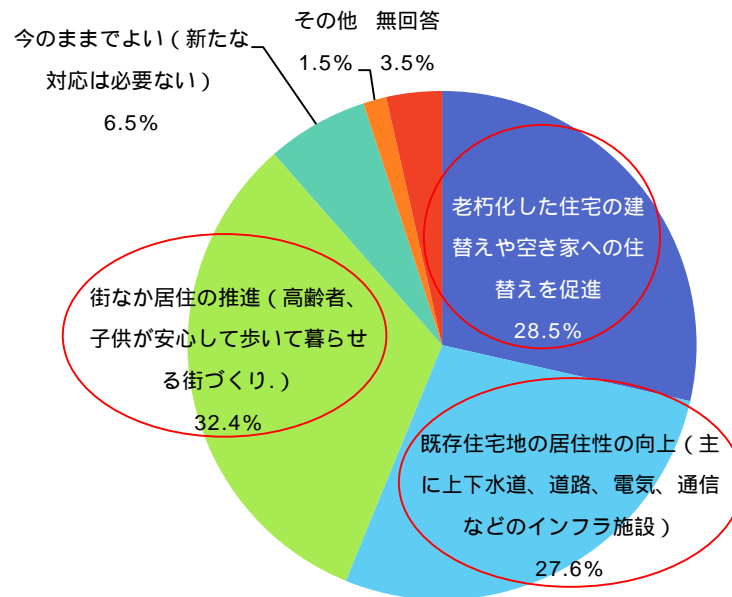
○「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。

- ・都市づくりの目標：(教育・文化の向上、子育て環境の充実、定住人材の育成、地域資源開発、ブランド化の推進、観光誘致、商店街の活性化、産業の振興、商店街の活性化、防犯対策)
- ・土地利用の方針：(土地利用対策、土地利用対策、移住支援対策、自然環境の保全)
- ・都市施設の方針：(福祉や医療の充実、公共施設の更新、道路網の整備、公共交通の充実)
- ・都市環境の方針：(空き家の利活用対策、生活環境の整備、情報通信体系、防災対策)

○「8章 実現化の方途」の方針に影響される設問。(広域連携交流、住民活動への支援)

問 11 . 大空町の将来のまちづくりのあり方について、「1～5」のそれぞれお考えに近いものを1つずつ選んで、右の回答欄 に をつけてください。

## 住宅系地域の土地利用のあり方について



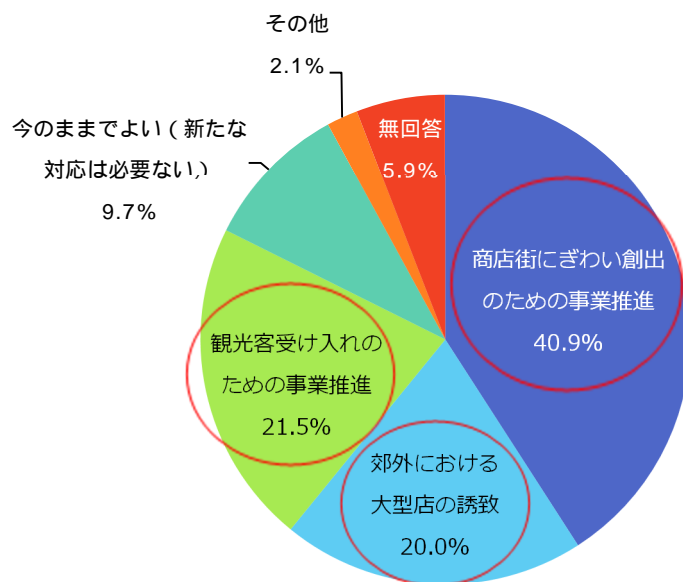
「街なか居住の推進」が32.4%、「老朽化した建替えや空き家への住替えを促進」が28.5%、「既存住宅地の居住性の向上」27.6%となっており、この3つの質問がほぼ同割合となっています。

○「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。

- ・都市づくりの目標：(老朽化した住宅の建替えや空き家への住替えを促進)
- ・土地利用の方針：(街なか居住の推進)
- ・都市施設の方針：(既存住宅地の居住性の向上)

# アンケート結果

## 商業系地域の土地利用のあり方について

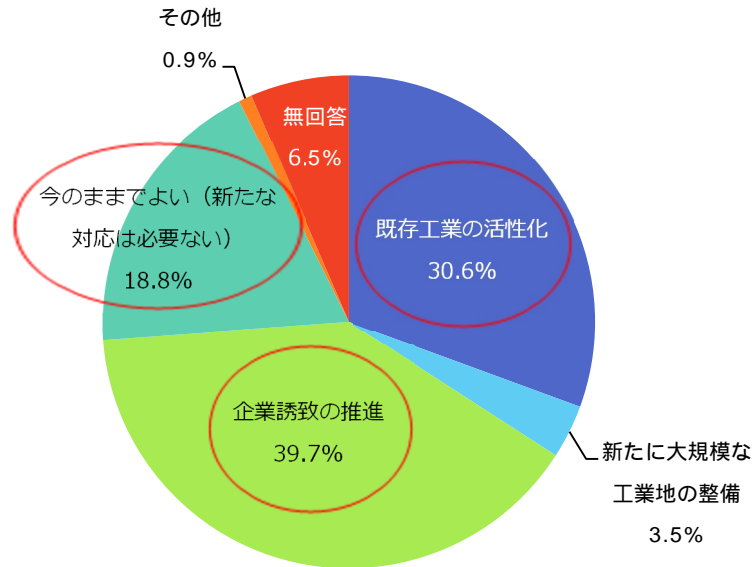


「商店街にぎわい創出のための事業推進」が40.9%と最も多く、「観光客受け入れのための事業推進」が21.5%、「郊外における大型店の誘致」20.0%となっています。

○「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。

- ・都市づくりの目標：(老朽化した住宅の建替えや空き家への住替えを促進、商店街にぎわい創出のための事業推進)
- ・土地利用の方針：(郊外における大型店の誘致)

## 工業系地域の土地利用のあり方について



「企業誘致の推進」が39.7%と最も多く、「既存工業の活性化」が30.6%、「今のままでよい」が18.8%となっています。

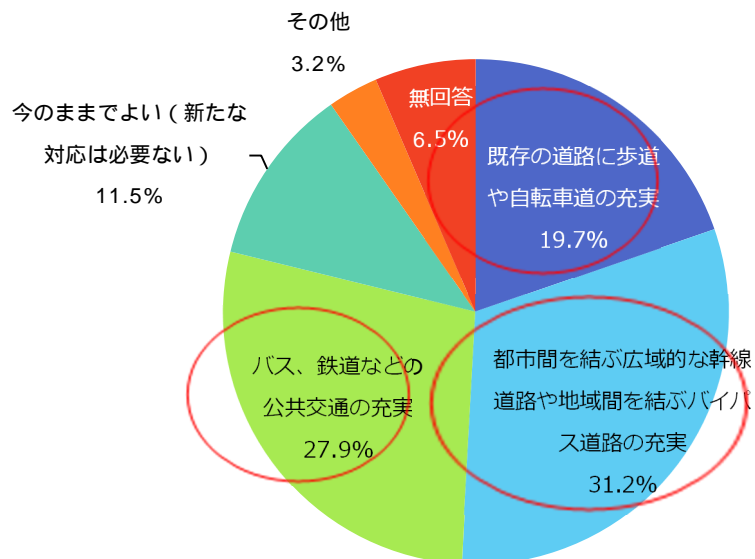
○「6章 全体構想」の下記の目標や方針に影響される設問。

- ・都市づくりの目標：（既存工業の活性化、企業誘致の推進）
  - ・土地利用の方針：
  - ・都市施設の方針：
- （新たに大規模な工業地の整備）



# アンケート結果

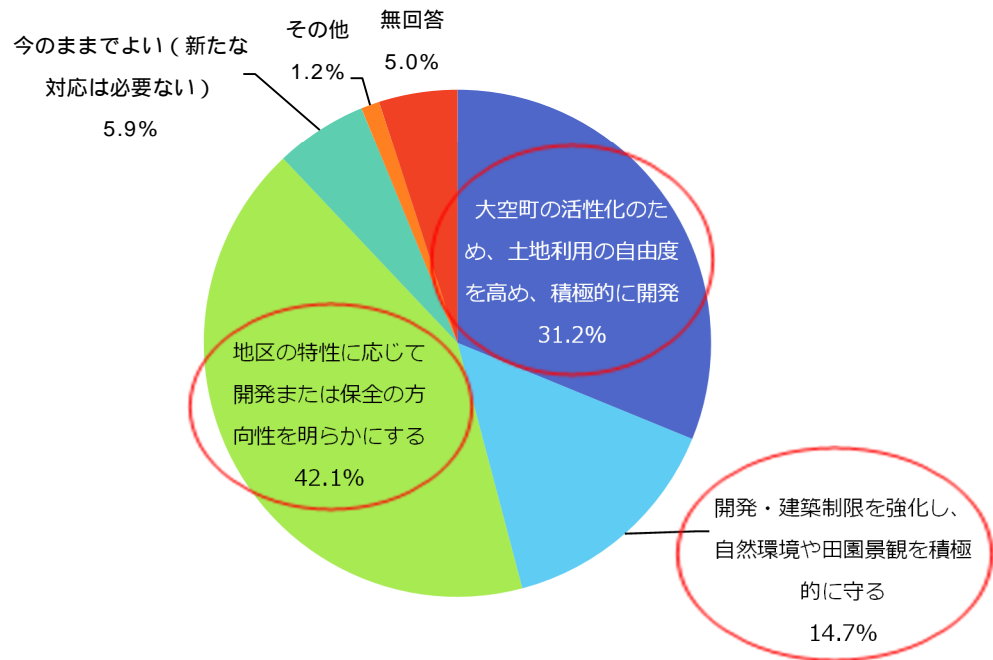
## 道路・公共交通整備のあり方について



「都市間を結ぶ広域的な幹線道路や地域間を結ぶバイパス道路の充実」が31.2%と最も多く、「バス、鉄道などの公共交通の充実」が27.9%、「既存の道路に歩道や自転車道の充実」が19.7%となっています。

○「6章 全体構想」の「都市づくりの目標」、「都市施設の方針」に影響されます。

広域交通ネットワークの向上により、現在北海道横断自動車道（網走線）の端野 I C ~ 高野 I C 約 20km 区間の整備を行っていますが、区間開通後における周辺の土地利用、開発のあり方について

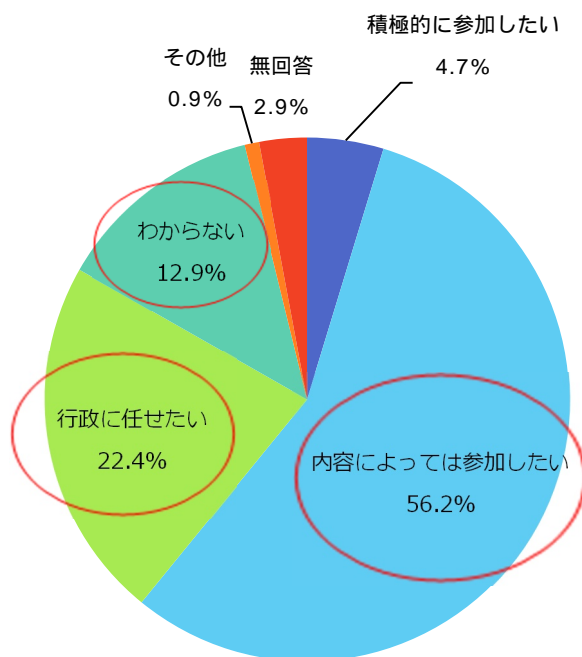


「地区の特性に応じて開発または保全の方向性を明らかにする」が 42.1%と最も多く、「大空町の活性化のため、土地利用の自由度を高め、積極的に開発」が 31.2%、「開発・建築制限を強化し、自然環境や田園景観を積極的に守る」が 14.7%となっています。

○「6章 全体構想」の「都市づくりの目標」、「土地利用の方針」に影響されます。

# アンケート結果

問 12. あなたはまちづくりの取り組みにどの程度参加したいと思いますか？ 次の中から1つだけ選んで右の回答欄に をつけてください。



「内容によっては参加したい」が56.2%と最も多く、半数以上となっており、「行政に任せたい」が22.4%、「わからない」が12.9%となっています。

○「8章 実現化の方途」に影響されます。